

授業科目 化学の基礎

【担当教員名】 土屋 康雄		対象学年	1	対象学科	臨床
		開講時期	前期	必修選択	選択
		単位数	1	時間数	15
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	○			
【概要・一般目標：G10】 臨床工学技士、臨床検査技師として業務を遂行する上で必要とされる化学的知識を習得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1 物質の構造について説明する。 2 物質の状態や変化について説明する。 3 無機化合物について説明する。 4 有機化合物について説明する。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	物質の構造（元素、原子）			1	講義
2	化学結合			2、3	講義
3	化学反応の量的関係、酸と塩基			2、3	講義
4	酸化と還元			2、3	講義
5	化学反応と熱、化学平衡と溶液の性質			2、3	講義
6	有機化合物：炭化水素			4	講義
7	有機化合物：脂肪族化合物			4	講義
8	有機化合物：芳香族化合物			4	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		まるわかり！ 基礎化学	田中栄一郎監修	南山堂	2012・1,700円＋税
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 定期試験の成績		【履修上の留意点】 臨床検査学の基礎となる講義のため、予習や復習を通して確実に理解すること。			